

第七十五回句会 俳句

【高点句】

- ☆疫病にふるさと遠き盆の月 〈一馬〉
☆新涼や絵本に頭重なりて 〈美保〉
☆諦めも生きる術なりつくつくし 〈眞澄〉
☆あかあかと畦ふくらます彼岸花 〈眞澄〉

【各自一句】

- ・大戦と平和見据えて天の川 〈一馬〉
・天の川乳白の湯に降り注ぎ 〈伸子〉
・行き帰りマスク外せぬ残暑かな 〈哲雄〉
・昔日の想ひ巡らす天の川 〈眞澄〉
・天の川濃く海暗く鄙の宿 〈安津子〉
・上高地仰ぐ太古の天の川 〈撫子〉
・台風来ハザードマップ広げたる 〈郁代〉
・台風の一過の熱波に涼求む 〈隆司〉
・身に入むやホトトギスに載る戦禍の句 〈青蛙〉
・真夜中のサハラを冷ます天の川 〈莫院〉
・一山は間引かぬままの青蜜柑 〈明美〉
・台風の来るぞ来るぞと予報士は 〈美保〉
・パラリンピアン自分らしきで挑む秋 〈緑〉

＊以上、39句（3句ずつ12名と、2句が1名、1句が1名）より、選句は15名により4句ずつ

＊高点句は、高得点の句より3句（今回は第1位が同点で2句、第3位が同点で2句）

＊各自一句は、得点に関わらず、作者自身の選出による（得点順ではなく、俳句一覧表に偶然記載された順に掲載／1名は掲載辞退）